

# 行政評価を実施しました

富士見町では、昨年度の行政評価試行を踏まえ、今年度から事務事業評価を本格的に導入しました。今回は、平成18年度事業を計画するにあたり、223件の事務事業について行政評価を実施しました。

**評価結果の概要**  
今回の223事業の評価結果については次のとおりです。

評価した事務事業数	223件	100%
事務事業のうち、1次評価(係長)2次評価(課長)ともに「採択可」であり事務事業の実施方法に対する評価が、すべて(適切)の事務事業数	155件	69.5%
事務事業のうち、1次評価(係長)2次評価(課長)ともに「採択可」であるが、事務事業の実施方法に対する評価が、(要見直し)又は×(不適切)の事務事業数	66件	29.6%
事務事業のうち、1次評価(係長)2次評価(課長)ともに「不採択」となった事務事業数	2件	0.9%

223事業のうち、2事業が不採択として評価されました。また、採択可とする事務事業についても、実施方法(取り組み)に対する評価が、「要見直し・不適切」と評価された事務事業は66件となりました。見直しをする主な事業は次のとおりです。

不採択の事務事業(2件)  
 友好事業「リッチモンド」  
 人材育成としての補助金であるが、昨今の情勢から個人負担の範囲とし、補助金の廃止を検討する。  
 花かおる事業：初期の目的は達成されたため、事業の廃止を検討する。

要見直しの事務事業(66件より抜粋)  
 サービス対象は適切か？  
 友好事業(川崎市・多摩市)：市民との交流を発展させ、住民同士が交流できるよう検討する。  
 老人クラブ活動助成事業：65歳からの補助対象が実態に合致しているか検討する。  
 町単年金支給事業：受給者に対し、支給対象範囲の見直しを検討する。  
 老人(68・69歳)福祉医療給付事業：所得のある世帯に対し、町費による給付制限を検討する。  
 サービスの提供方法は適切か？

か？  
 有線放送事業：老朽化に伴い、新しいサービス提供、施策を早急に検討する。  
 広報ふじみ：町民が参加できる情報の掲載や、わかりやすく読みやすい情報提供を行う。

自主防災組織：地区自主防災組織の到達水準に応じた支援を継続して行う。  
 在宅介護リフレッシュ事業：参加者が少なく効果が低いため意見聴取を行い、内容を検討する。  
 サービス対象者への受益者負担は適切か？  
 マイクロバス運転委託事業：利用者(団体)に対して経費の徴収を早急に検討する。  
 福祉・老人福祉センター管理運営：健康づくり支援施設として必要であるが、今後利用者負担の検討をする。  
 長時間保育事業：料金一律ではなく時間単位での料金設定を検討する。  
 博物館管理運営事業：新しい町づくりの一環として町民に対する入館料の軽減を検討する。  
 他事業と類似・重複はないか？  
 広報ふじみ お知らせ版：掲載については、今後緊急性のあるもののみ対応する。  
 町勤労者生活資金預託金貸

付事業：類似の金融商品もあり利用実績を勘案し、関係機関との調整を図る。  
 ・実施主体は適切か？  
 自転車のまちづくり：町全体の取り組みに発展させ、住民主体のイベントとして確立したい。  
 景観推進協議会補助金：町民参加で、協議会が中心となる景観推進の活動に期待したい。

担当者や評価者により見出された問題点の改善を図っていくことにより、常に効率的で質の高い行政サービスの実現を目指していきます。  
 富士見町の行政評価も始まったばかりですが、今後継続的に取り組み、行政運営に生かしていきたいと考えています。また、評価方法についても改善していきたいと思しますので、町民の皆さんのご意見をお聞かせください。

**評価結果の公表**  
 評価結果については、ホームページで公表するほか、役場1階総合窓口や図書館に報告書を設置しておりますので、どうぞ、ご覧ください。

【お問い合わせ】  
 総務課企画統計係

☎62-9332  
 有9332